



OPROARTS Connector for Salesforce ユーザーガイド (PDF/ヘッダー明細)

Ver.1.3

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/05/30	新規作成
1,1	2021/07/28	6. 参考リンク を追記
1.2	2021/09/06	OPROARTS Designer へのログイン方法について追記
1.3	2021/12/02	3.4 その他のコンポーネント を追加 ラベルの「動的」にチェックを入れる操作について強調するよう編集

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、OPROARTS Connector for Salesforce をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに	5
2. 全体の流れ	6
3. テンプレートのデザイン	7
3.1 テンプレートの新規作成	8
3.2 基本操作の紹介.....	10
3.3 実際に作る	12
3.4 その他のコンポーネント	15
4. 項目のマッピング	17
4.1 1st Salesforce へのログイン.....	17
4.2 2nd 起点オブジェクトの選択	18
4.3 3rd 明細オブジェクトの選択.....	18
4.4 4th 明細オブジェクトの詳細.....	19
4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択	20
4.6 6th 動的コンポーネントとマッピング.....	20
5. 出力アクションの作成	24
5.1 詳細ページに出力アクションを配置する.....	24
5.2 リストページに出力アクションを配置する.....	31
6. 参考リンク	34

1. はじめに

ここでは Connector for Salesforce で出力する帳票を作成するにあたって重要となる「ヘッダー明細型」の概念について説明します。

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を 2 つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

御請求書

発行日: 2017/09/01
請求番号: 0001

日本オプロ株式会社 御中
東京都港区芝3-43-15
芝信三田ビル

デモ商事株式会社
〇〇県〇〇市
〇〇1-1-1 〇〇ビルズ
11-1111-1111 / 11-1111-1112

下記の通りご請求申し上げます。

ご請求額 ¥756,000

請求締日 20日
支払期限 2017/9/20

振込先 〇〇銀行 三田支店 123456

製品名	単価	数量	金額
商品1	100,000	1	100,000
商品2	300,000	1	300,000
商品3	100,000	1	100,000
商品4	100,000	1	100,000
商品5	100,000	1	100,000
商品6	100,000	1	100,000
商品7	100,000	1	100,000

合計 ¥700,000
消費税 ¥56,000
総合計(税込) ¥756,000

備考

1ページ

・非明細部

取引先や住所などのように、帳票上に一度しか表示されない項目が集まる領域。ヘッダーやフッター

・明細部

商品名などといった、帳票によって行数が変わる領域。「繰り返し領域」ともいう。

Salesforce のオブジェクトデータからこのヘッダー明細型帳票を作る場合、

非明細部: 起点となるオブジェクト、または関連オブジェクトのレコード(単一レコード)項目

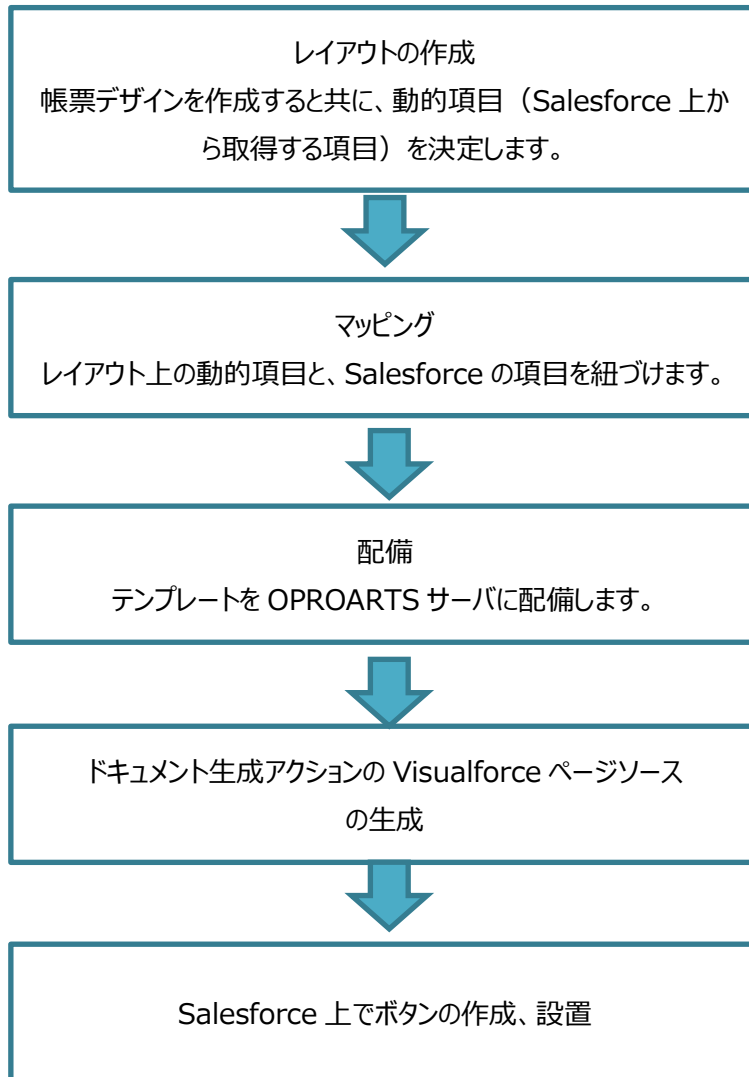
明細部: 起点となるオブジェクトの子オブジェクトのレコード(複数レコード)項目

を用いてそれぞれの部分を埋めることとなります。

つまり、非明細部に用いる起点オブジェクトと明細部に用いる子オブジェクトは 1 対 n の関係となります。

2. 全体の流れ

OPROARTS Connector では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

サンプル帳票	① 2019/05/30					
Grand Hotels & Resorts Ltd	②					
<table border="1"><thead><tr><th>商品名</th></tr></thead><tbody><tr><td>SLA: Bronze</td></tr><tr><td>SLA: Gold</td></tr><tr><td>SLA: Platinum</td></tr><tr><td>SLA: Silver</td></tr></tbody></table>	商品名	SLA: Bronze	SLA: Gold	SLA: Platinum	SLA: Silver	③
商品名						
SLA: Bronze						
SLA: Gold						
SLA: Platinum						
SLA: Silver						
備考 これはサンプルテキストです。	④					
	⑤ Page 1					

番号	内容
①	帳票出力した日付
②	商談オブジェクトに紐づく取引先名
③	商談オブジェクトの子オブジェクトである商談商品オブジェクトの商品名
④	商談オブジェクトの説明項目
⑤	ページの番号

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。
任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。
このマニュアルで使用しない各帳票コンポーネントは以下の章で紹介していますので、必要に応じてご参照ください。
[その他のコンポーネント](#)

3.1 テンプレートの新規作成

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



Point

セットアップガイドの「3.1 「LAD」ライセンスの登録」の設定ができていれば、「OPROARTS」タブの画面に「START」ボタンが表示されます。

そちらをクリックすることで、ログイン可能です。

The image shows a screenshot of the OPROARTS Designer interface. At the top, there is a search bar and a navigation menu with 'OPROARTS Connect...', 'ホーム', and 'OPROARTS'. Below the navigation, there is a list of instructions for setting up document output authentication. At the bottom of the instructions, there is a 'START' button highlighted with a red rectangular border. Below the 'START' button, there is a table with columns for 'アクション', 'OPROARTS キー', and 'CID'.

文書出力用の認証情報の登録は、以下の手順に従ってください。

1. OPROARTS列のドロップダウンで「出力 (LA)」を選択します。
2. CID列の入力欄に、取得した認証情報のCIDを入力します。
3. 追加ボタンをクリックします。
4. 下のリストに表示されたOPROARTS列の「LA」リンクをクリックして、OPROARTSの詳細ページを開きます。
5. ユーザ列の入力欄の右のボタンをクリックして、Salesforceのユーザを選択します。
6. UID列の入力欄に、取得した認証情報のUIDを入力します。
7. UPW列の入力欄に、取得した認証情報のパスワードを入力します。
8. 追加ボタンをクリックします。
9. 文書出力を許可するユーザについて、手順 5. から 8. までを繰り返します。
10. 各ユーザのプロファイルを編集して、OPROARTSオブジェクトとOPROARTSユーザオブジェクトに対する参照のカスタム

START 新しいウィンドウで OPROART Designer を開始します!

アクション	OPROARTS キー	CID
-------	-------------	-----

ここでは、[ブランク] タブで A4 縦を選択します。

連携方法「Connector for Salesforce」、出力形式「PDF/OPR」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- 使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- 先頭の文字はアルファベットである
- 最後の文字がアンダースコアでない
- アンダーバーが 2 個以上連続していない

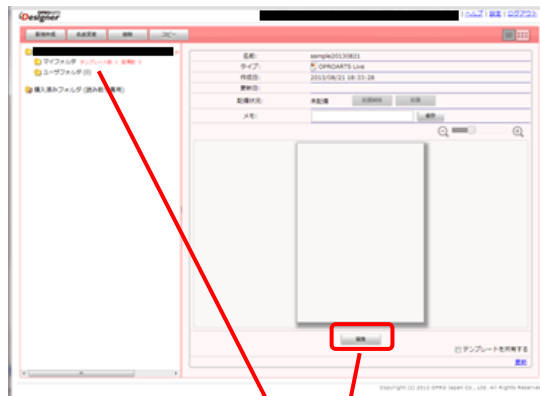
新規作成

タイトル ブランク
共通
A4 縦

連携方法 Connector for Salesforce
出力形式 PDF/OPR

テンプレート名 sample
作成先 マイフォルダ

作成



「マイフォルダ」以下のテンプレートをダブルクリックするか、[編集] をクリックして、デザイン画面を開きます。

3.2 基本操作の紹介

左上にあるコンポーネントのリストから配置したいコンポーネントを選択してからレイアウト上をクリックすることで選択したコンポーネントを配置できます。



また、画面左側に現れるプロパティを変更することで現在選択されているコンポーネントの詳細を設定できます。



その他に、知っておくと便利な基本のショートカットキーをご紹介します。

ショートカットキー	動作
[Ctrl] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントを 1px ずつ移動
[Ctrl] + [Shift] + [矢 印 (↑↓←→)]	コンポーネントをグリッドの間隔単位で移動
[Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントのサイズを変更
[Ctrl] + 選択	コンポーネントを複数選択する(※)
Ctrl+Z	取消
Ctrl+Y	やり直し
Ctrl+X	切り取り
Ctrl+C	コピー
Ctrl+V	貼り付け
Ctrl+A	全て選択(※)
Esc	選択解除
Delete	削除

(※)以下のコンポーネントを組み合わせると、同時に選択することはできません。

- 他のコンポーネントを内包するコンポーネント
- 他のコンポーネントに内包されたコンポーネント

3.3 実際に作る

ここでは、実際にテンプレートをデザインしながら Live の使い方を学んでいきます。

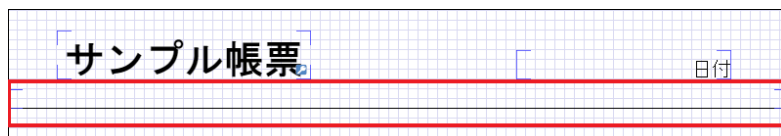
1. 罫線や枠線を引く

Line コンポーネントや Rectangle コンポーネントを用いて仕切り線を引きます。

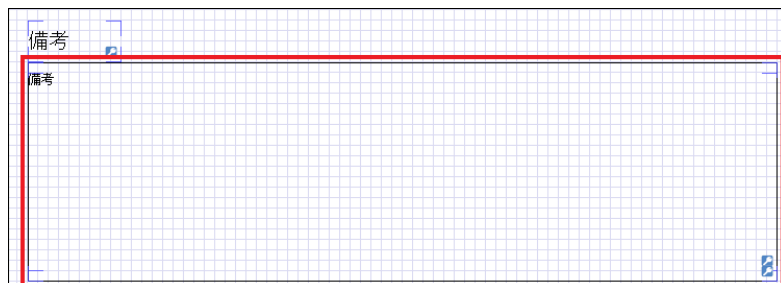


実際にレイアウトに配置するとこのようになります。

罫線



枠線

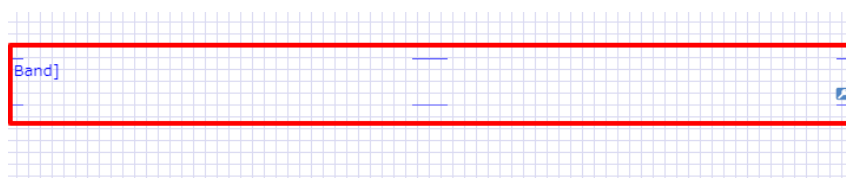


2. データセットテーブルを設置

DataSetTable コンポーネントを配置して、明細部分のレイアウトを作成します。



Dataset Table コンポーネントの中に、Band というコンポーネントがあります。



この中に配置されたコンポーネントは、明細オブジェクトレコードの数だけ繰り返し表示されます。

ここでは、商品名の動的項目ラベルと罫線を配置します。

※「動的」項目については、次のステップで説明します。



3. ラベルを配置、動的項目にチェック

文字列を表示したい部分には、Label コンポーネントを配置します。

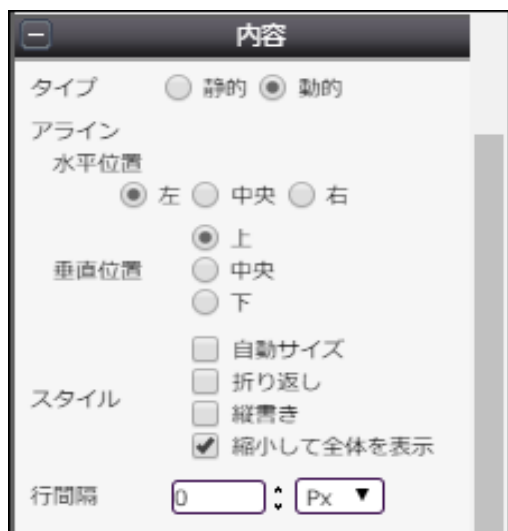


実際にレイアウトに配置するとこのようになります。



ラベルの詳細内容は以下のように設定します。

※取引先名を表示するラベルを一例として取り上げているだけなので、配置したそれぞれのラベルコンポーネントに合わせて設定してください。



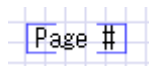
- **タイプ**
このラベルは取引先名の値を表示するので、「動的」に設定します。
固定文言の場合、「静的」を指定します。
- **アライン**
水平位置、垂直位置ともに、ラベルのどの位置に文字が表示されるのか指定します。
- **スタイル**
文字数が多くても全体が表示されるよう、「縮小して全体を表示」にチェックを入れます。
- **行間隔**
行の折り返しはしないので、0のままにしておきます。

4. ページ番号を挿入

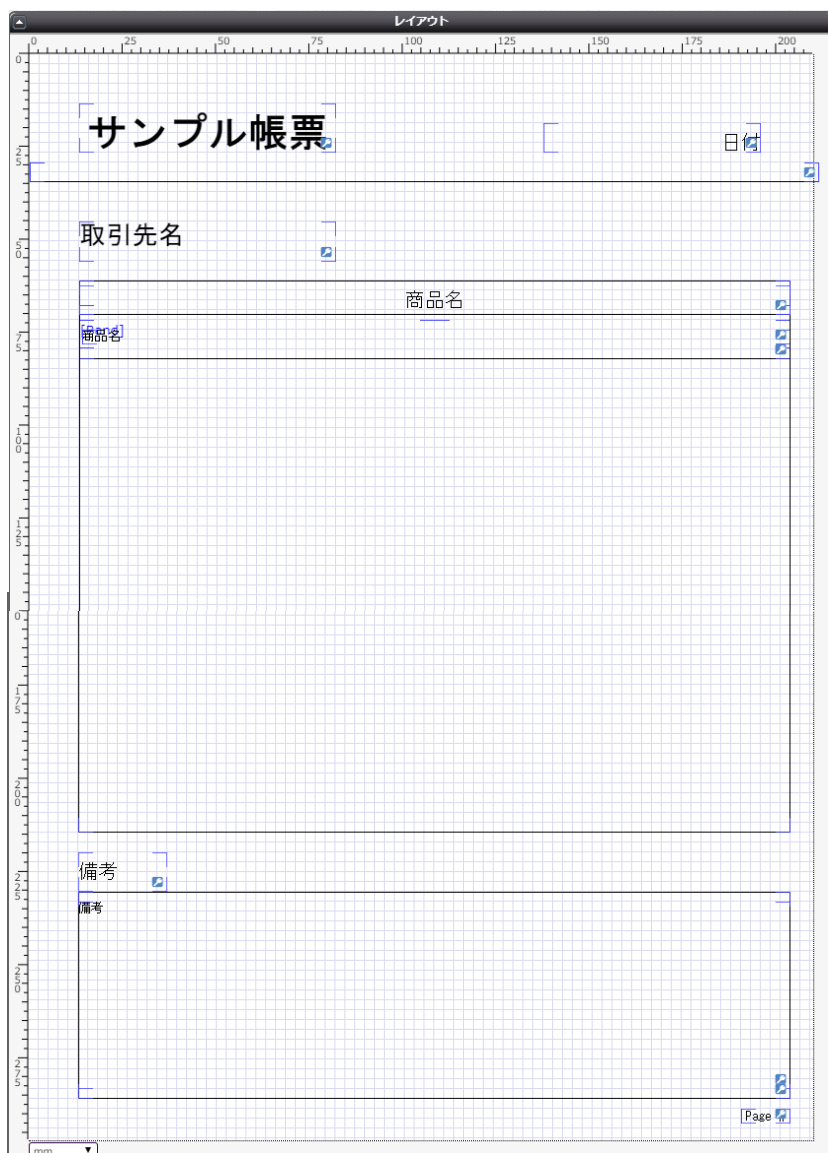
レイアウト右下にページ番号を配置します。



実際にレイアウトに配置するとこのようになります。



完成したレイアウトは以下です。



デザインが出来上がったら、保存ボタン(💾)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。

3.4 その他のコンポーネント

ここでは、3.3 までに紹介したコンポーネントを含む全ての使用可能なコンポーネントについてリストアップして説明します。



番号	名称	機能
1	Line	レイアウトにラインを描画します。
2	Rectangle	レイアウトに正方形・長方形を描画します。
3	Circle	レイアウトに円・楕円を描画します。
4	Label	レイアウトにテキストを表示します。テキストは、静的に指定(コンポーネントに直接記述)するだけでなく、ドキュメント生成時に データソースの値を動的に適用することもできます。
5	Image	レイアウトに画像を挿入します。画像は、 <ul style="list-style-type: none"> ・お使いのブラウザよりアップロードされたもの ・Salesforce 組織に登録されている画像（画像ファイルのレコード ID から取得） ・外部サーバから URL で取得できるものを設定できます。
6	Barcode	レイアウトにバーコード画像を挿入します。Barcode の元となるデータは、静的に指定(コンポーネントに直接記述)するだけでなく、ドキュメント生成時にデータソースの値を動的に適用することもできます。
7	Page Number	レイアウトにページ番号を表示します。コンポーネント毎に、ページ番号の採番・表示ルールを設定することができます。
8	Total Page Number	レイアウトに総ページ数を表示します。ただし、OPR 形式での出力のみ有効なコンポーネントです。
9	Dataset Table	データソースのデータとリンクし、バンドを使用してレイアウトにテーブルを作成します。Dataset Table コンポーネントは、内部に Band コンポーネントを持ちます。
1 0	Horizontal Dataset Table	データによって明細行が右方向に伸びる点を除き Dataset Table コンポーネントと同じです。
1 1	Container	内部に複数 DatasetTable を配置可能なコンポーネントです。Container 内に二つの DatasetTable を配置して出力すると、最初の DatasetTable にテーブルの内

		容すべてを表示した後、二番目の DatasetTable にテーブルの内容を表示します。
--	--	--

Dataset Table 内に設定できるコンポーネント

名称	機能
Band	Dataset Table コンポーネントに繰り返し領域（明細行）を描画します。Dataset Table 配置時に内包されています。
Report Header	Dataset Table コンポーネントにレポートヘッダ領域を描画します。レポートヘッダは、繰り返し領域（明細行）の前に1度だけ描画されるヘッダです。
Report Footer	Report Footer コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにレポートフッタ領域を描画します。レポートフッタは、繰り返し領域（明細行）の後に1度だけ描画されるフッタです。
Column Header	Column Header コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにカラムヘッダを描画します。カラムヘッダは Dataset Table の明細行の直前に描画されるヘッダです。見出しの役割をします。
Group Header	Group Header コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにグループヘッダを描画します。グループヘッダは、Dataset Table のデータを任意項目でグループ化し、その際のヘッダを描画します。
Group Footer	Group Footer コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにグループフッタを描画します。グループフッタは、Dataset Table のデータを任意項目でグループ化し、その際のフッタを描画します。

4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに Salesforce の項目をマッピングします。

4.1 1st Salesforce へのログイン

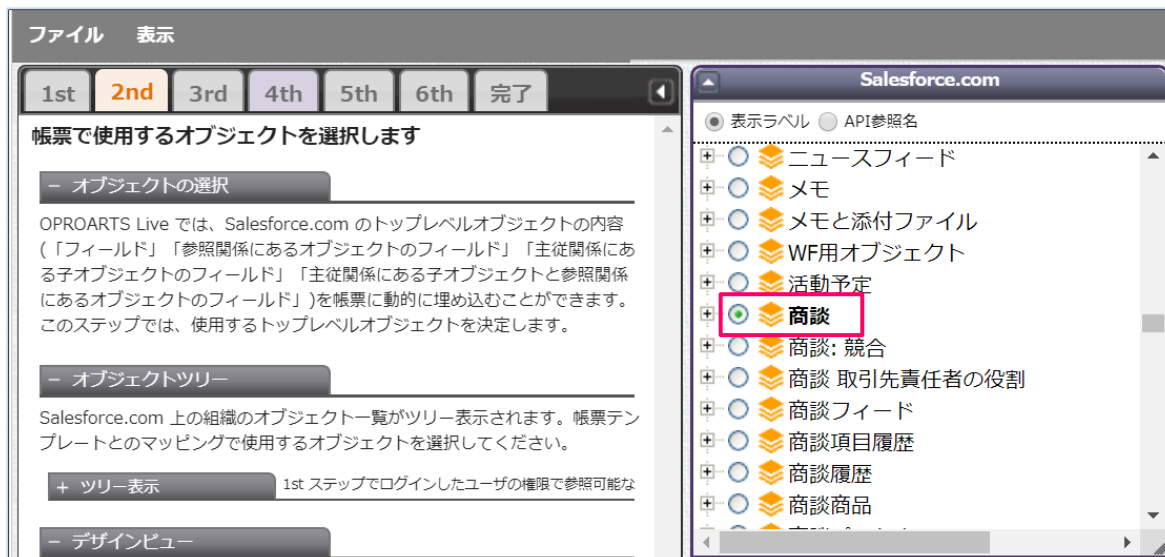
出力したいオブジェクトレコードが存在する Salesforce 組織へログインします。



4.2 2nd 起点オブジェクトの選択

使用するオブジェクトの中で起点となるものを指定します。

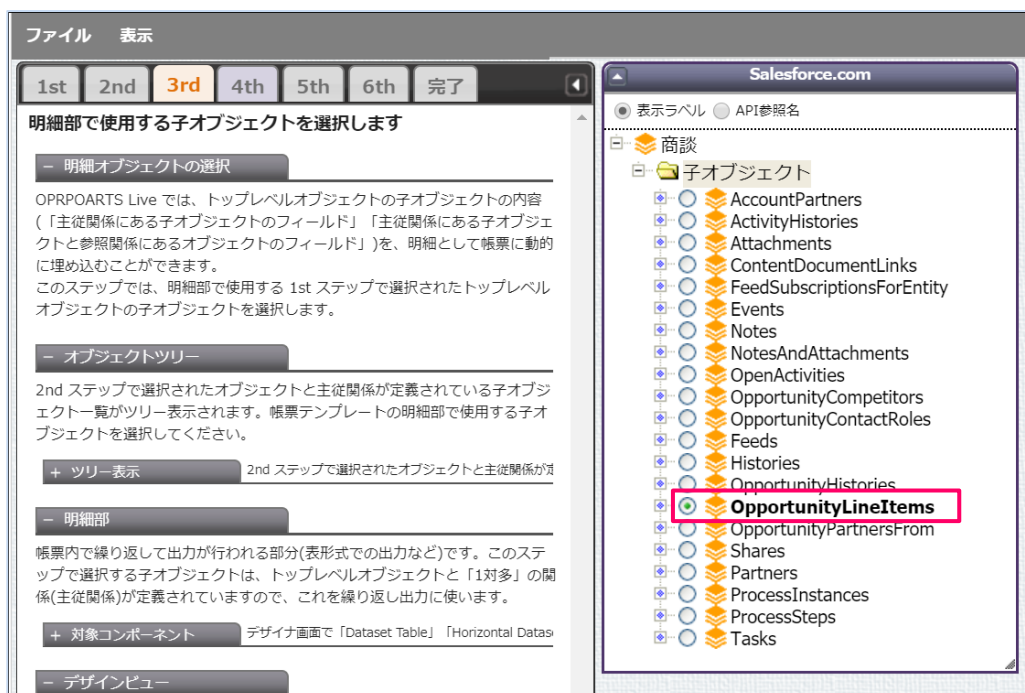
ここでは商談オブジェクトを指定します。



4.3 3rd 明細オブジェクトの選択

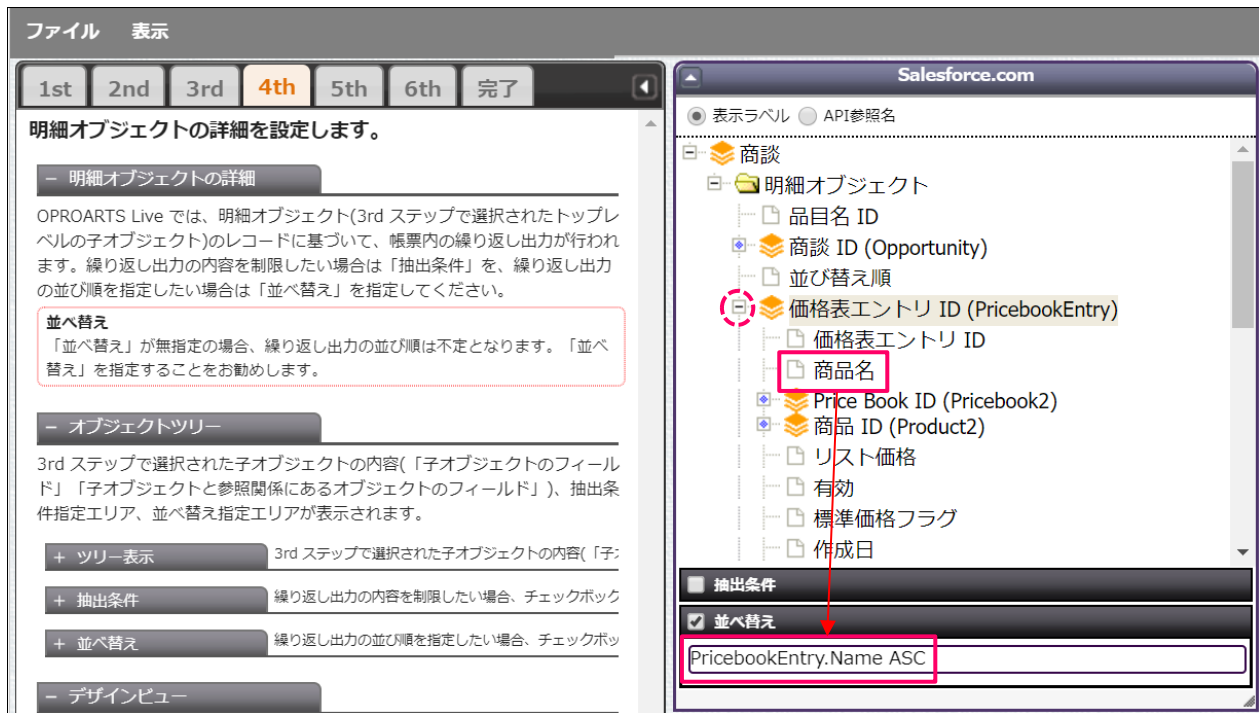
明細に使用する子オブジェクトを選択します。

ここでは OpportunityLineItems を指定します。



4.4 4th 明細オブジェクトの詳細

明細データの表示順や抽出条件を指定します。



ここでは明細の並び替えで商品名(※)を昇順指定しています。

並び替え対象の項目を「並び替え」の欄にドラッグ&ドロップしたのち、

昇順: ASC

降順: DESC

を末尾に追加することで指定可能です。

※「価格表エントリ ID」のフォルダー左横にある[+]をクリックすることで階層ツリーが展開され、「商品名」項目が表示されます。

4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択

関連リストの指定をします。

明細以外の子オブジェクトの選択、抽出条件、並び順の指定が可能です。

この設定は省略可能です。

The screenshot shows a software interface with a progress bar at the top containing steps 1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th (highlighted), 6th, and 完了. Below the progress bar, the main area is titled '関連する子オブジェクトを選択します' (Select related child objects). It contains two sections: '関連する子オブジェクト' (Related child objects) and 'オブジェクトツリー' (Object tree). The 'オブジェクトツリー' section shows a list of child objects from Salesforce.com, including AccountPartners, ActivityHistories, Attachments, ContentDocumentLinks, FeedSubscriptionsForEntity, Events, Notes, NotesAndAttachments, OpenActivities, OpportunityCompetitors, OpportunityContactRoles, Feeds, Histories, OpportunityHistories, and OpportunityPartnersFrom. The interface also has a 'ファイル 表示' (File View) menu at the top left.

4.6 6th 動的コンポーネントとマッピング

デザイン画面で動的項目に設定したラベル名がマッピングの項目で表示されます。

各ラベルについて、表示したい項目を選択します。

フィールド マッピング			
コンポーネント	タイプ	スタイル	データ
Date	Label		TODAY()
Account	Label		Opportunity.Account.Name
Remarks	Label		Opportunity.Description
ProductName	Label		OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name

■ 日付

The screenshot shows the Salesforce Field Mapping interface. On the left, the 'Salesforce.com' pane displays a tree view with '日付時刻の形式' (Date and Time Formats) expanded, and 'yyyy/MM/dd' selected. Below it, the '式' (Formula) pane shows 'NOW()' and 'TODAY()' functions. The main 'フィールド マッピング' (Field Mapping) pane contains a table:

コンポーネント	タイプ	スタイル	データ	フォーマット
Date	Label		TODAY()	yyyy/MM/dd
Account	Label		Opportunity.Account.Name	
Remarks	Label		Opportunity.Description	
ProductName	Label		OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	

Below the table is an '編集' (Edit) panel with fields for 'データ' (containing 'TODAY()'), 'フォーマット' (containing 'yyyy/MM/dd'), and '条件' (empty). A '適用' (Apply) button is at the bottom.

式>システム関数>TODAY()を「編集」パネルの「データ」にドラッグ&ドロップします。

フォーマット>日付時刻の形式>「yyyy/MM/dd」を「編集」パネルの「フォーマット」にドラッグ&ドロップします。

■ 取引先名

The screenshot shows the Salesforce Field Mapping interface. On the left, the 'Salesforce.com' pane displays a tree view with '取引先名' (Account Name) selected. The main 'フィールド マッピング' (Field Mapping) pane contains a table:

コンポーネント	タイプ	スタイル	データ	フォーマット
Date	Label		TODAY()	yyyy/MM/dd
Account	Label		Opportunity.Account.Name	
Remarks	Label		Opportunity.Description	
ProductName	Label		OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	

Below the table is an '編集' (Edit) panel with the 'データ' (Data) field containing 'Opportunity.Account.Name'. The 'フォーマット' (Format) and '条件' (Criteria) fields are empty. A '適用' (Apply) button is at the bottom.

参照フィールド>「取引先 ID」>「取引先名」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ&ドロップします。

■ 備考

The screenshot shows the Salesforce Field Mapping interface. On the left, the 'Salesforce.com' sidebar displays a tree view of fields under '商談' (Opportunity). The '説明' (Description) field is highlighted with a red box. On the right, the 'フィールド マッピング' (Field Mapping) table lists fields and their mappings. The 'Remarks' row is highlighted in yellow, showing the mapping from 'Remarks' to 'Opportunity.Description'. Below the table, the '編集' (Edit) panel shows the 'データ' (Data) field set to 'Opportunity.Description'.

コンポーネン	タイプ	スタイル	データ	フォーマット
Date	Label		TODAY()	yyyy/MM/dd
Account	Label		Opportunity.Account.Name	
Remarks	Label		Opportunity.Description	
ProductName	Label		OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	

参照フィールド>「説明」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ&ドロップします。

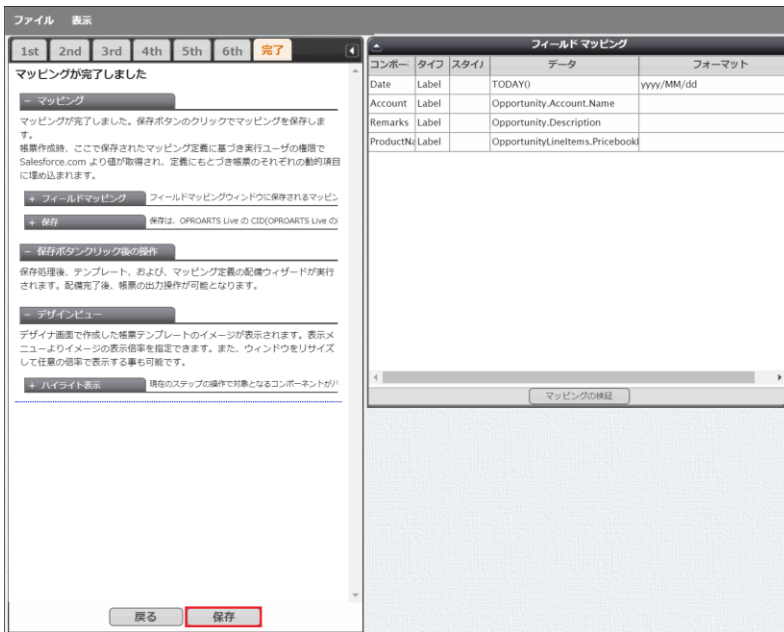
■ 商談商品名

The screenshot shows the Salesforce Field Mapping interface. On the left, the 'Salesforce.com' sidebar displays a tree view of fields under '明細オブジェクト' (Detail Object). The '商品名' (Product Name) field is highlighted with a red box. On the right, the 'フィールド マッピング' (Field Mapping) table lists fields and their mappings. The 'ProductName' row is highlighted in yellow, showing the mapping from 'ProductName' to 'OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name'. Below the table, the '編集' (Edit) panel shows the 'データ' (Data) field set to 'OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name'.

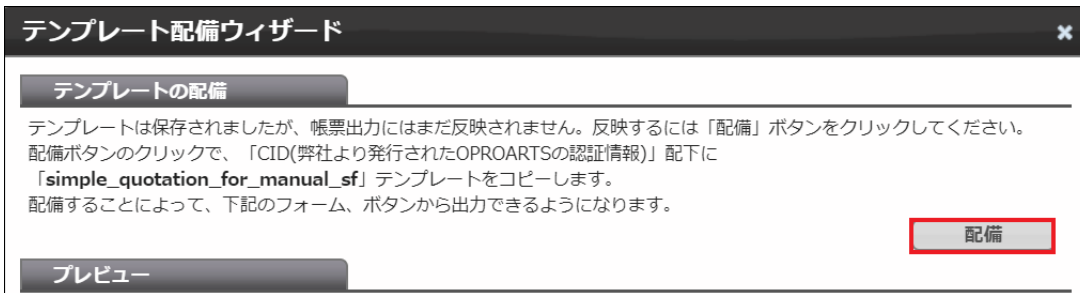
コンポーネン	タイプ	スタイル	データ	フォーマット
Date	Label		TODAY()	yyyy/MM/dd
Account	Label		Opportunity.Account.Name	
Remarks	Label		Opportunity.Description	
ProductName	Label		OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	

明細オブジェクト>「価格表エントリ ID」>「商品名」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ&ドロップします。

マッピングが完了したら[次へ]をクリック、その後[保存]をクリックし、



テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。



※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

5. 出力アクションの作成

Salesforce のレコード画面から帳票を出力するアクションを作成します。

Salesforce のレコード画面から Connector for Salesforce で帳票出力をするためには、出力をリクエストするアクションを Salesforce 上に作成する必要があります。

ここでは 1. 詳細ページに出力アクションを配置する場合と、2. リストページに出力アクションを配置する場合を説明します。

5.1 詳細ページに出力アクションを配置する

1. テンプレート配備ウィザードの「出力アクションの作成」で[生成]ボタンをクリックします。

※サンプルテンプレートは商談情報をマッピングしているので、商談に出力アクションを設置します。

テンプレート配備ウィザード

<input type="checkbox"/> 0060a00001JmeN8AAJ	サンプル取引先
<input type="checkbox"/> 0060a00001JmeN8AAJ	サンプル取引先

プレビュー

出力ボタンの作成

プレビューに問題がなければ、[生成]ボタンをクリックして「OnClick JavaScript ソース」を作成してください。

手順を表示

ドキュメントの添付

生成されたドキュメントのオブジェクトへの添付: する しない

活動履歴の登録

生成されたドキュメントを活動履歴に登録: する しない

ファイル名

ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名:

ボタンの設置場所

ドキュメント出力ボタンを設置するページの種類: リストページ 詳細ページ

生成

出力アクションの作成

カスタムボタンが表示されない環境向けに、アクションを作成することも可能です。
[生成]ボタンをクリックして「Visualforce ページソース」を作成してください。

手順を表示

ドキュメントの形式

出力するドキュメントの形式: PDF

ドキュメントの添付

生成されたドキュメントのオブジェクトへの添付: する しない

活動履歴の登録

生成されたドキュメントを活動履歴に登録: する しない

ファイル名

ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名:

ボタンの設置場所

ドキュメント出力ボタンを設置するページの種類: リストページ 詳細ページ

生成

閉じる

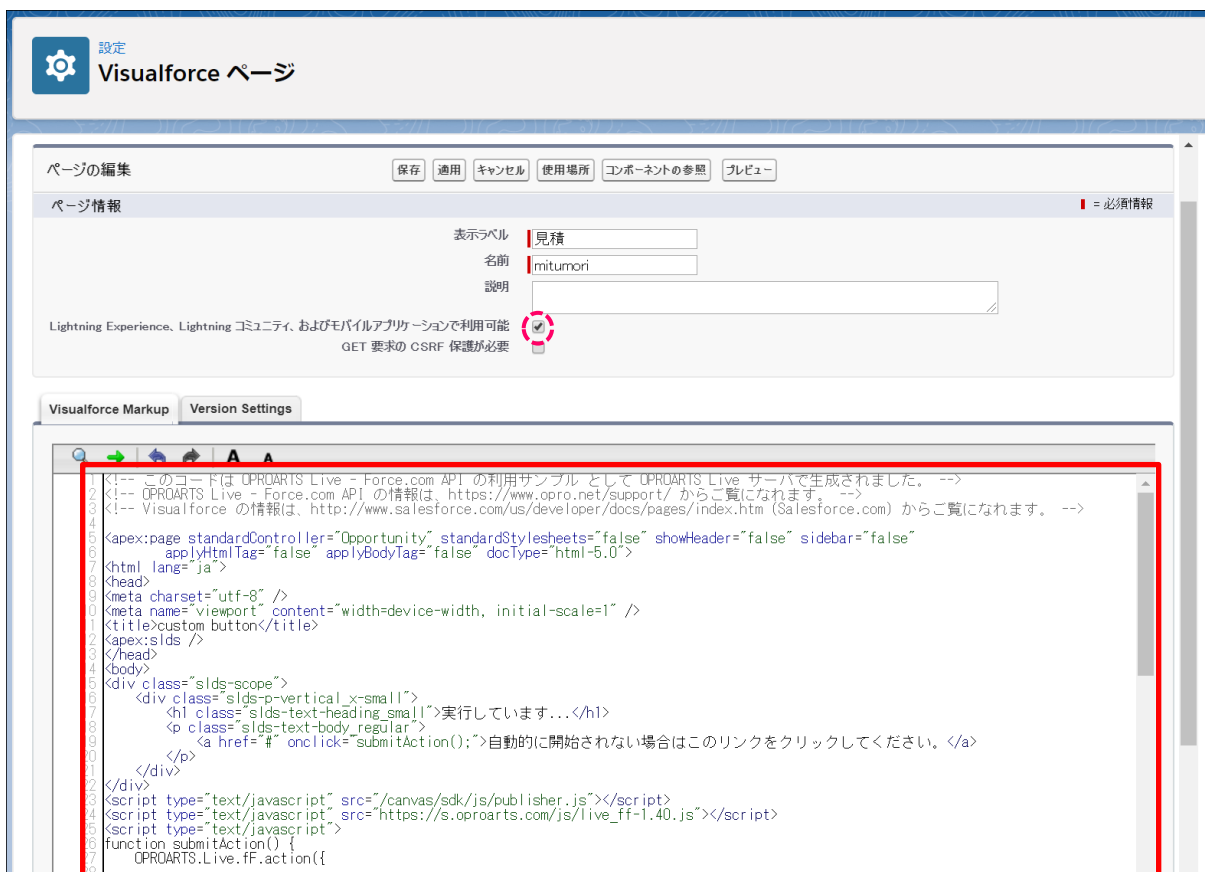
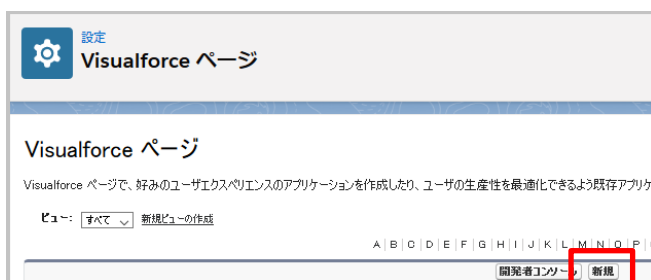
2. 表示されたソースを全選択してコピーします。

```
<!-- このコードは OPROARTS Live - Force.com API の利用サンプルとして OPROARTS Live サーバで生成されました。 -->
<!-- OPROARTS Live - Force.com API の情報は、https://www.opro.net/support/ からご覧になれます。 -->
<!-- Visualforce の情報は、http://www.salesforce.com/us/developer/docs/pages/index.htm (Salesforce.com) からご覧になれます。 -->
<apex:page standardController="Opportunity", standardStylesheets="false" showHeader="false" sidebar="false"
  applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" docType="html-5.0">
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
<title>custom button</title>
<apex:slds />
</head>
<body>
<div class="slds-scope">
<div class="slds-p-vertical_x-small">
<h1 class="slds-text-heading_small">実行しています...</h1>
<p class="slds-text-body_regular">
<a href="#" onclick="submitAction();">自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a>
</p>
</div>
</div>
</div>
<script type="text/javascript" src="/canvas/sdk/js/publisher.js"></script>
<script type="text/javascript" src="https://s.oproarts.com/js/live_ff-1.40.js"></script>
<script type="text/javascript">
function submitAction() {
  OPROARTS.Live.ff.action({
    // tp: 配備済みテンプレートの名称を指定します。複数指定することもできます。
    // このパラメータを省略することはできません。
    // ※ 出力形式がExcelブックやWord文書の場合、テンプレート作成時に指定したエクセルブックの拡張子を付与してください。
    tp: [
      'simple_quotation_for_manual_sf'
    ],
    // fe: フォントの埋め込みかどうかを指定します。true もしくは false で指定します。
    // 実行するメソッドが .pdf() または .pdfPreview() の場合に有効です。
    // また、テンプレートで埋め込み可能なフォントが使用されている必要があります。
    fe:false,
    // createFileAttach: 作成されたドキュメントをオブジェクトに添付するかを指定します。true もしくは false で指定します。
    // 添付できないオブジェクトの場合、このパラメータを true で指定しないでください。
    createFileAttach:false, // Salesforce Filesへアップロード(ContentVersionオブジェクトへのアップロード)
    createAttach:false, // 添付ファイル(Attachment)オブジェクトへアップロード
  });
}
```

3. 設定>カスタムコード>Visualforce ページを選択します。



4. [新規]ボタンをクリックし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



表示ラベル(例)

見積

名前(例)

mitumori

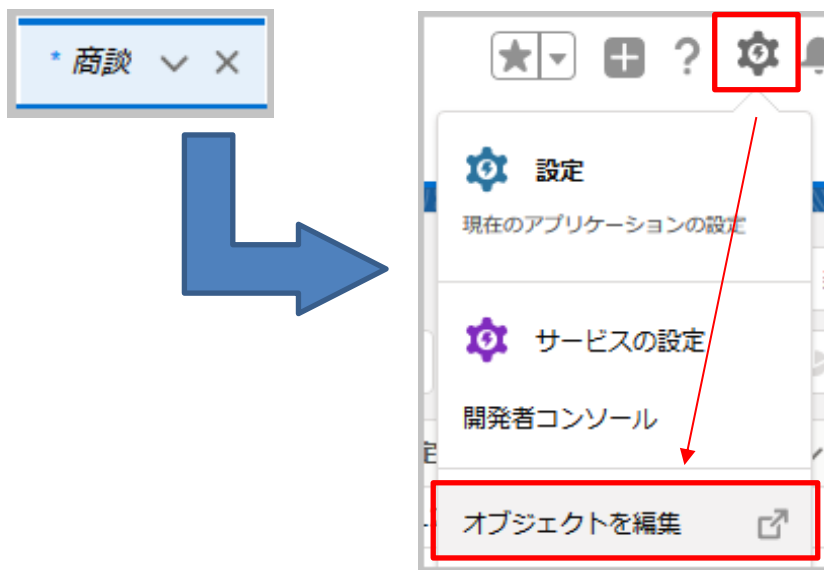
「Lightning Experience～」

チェックを入れる

内容

2 でコピーした内容

5. アクションを設置するオブジェクトを選択して、設定の[オブジェクトを編集]をクリックします。



6. [ボタン、リンク、およびアクション]を選択して、[新規アクション]をクリックします。



7. 下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談 アクション
新規アクション

アクション情報を入力 保存 キャンセル

オブジェクト名 商談 i

アクション種別 カスタム Visualforce

Visualforce ページ 見積 [mitumori] i

高さ 250 ピクセル i

標準の表示ラベル種別 --なし-- i

表示ラベル

名前 i

説明 i

アイコン ⚡ アイコン変更

保存 キャンセル

アクション種別

カスタム Visualforce を指定

Visualforce ページ

4 で作成した Visualforce ページ を指定

高さ

変更なし

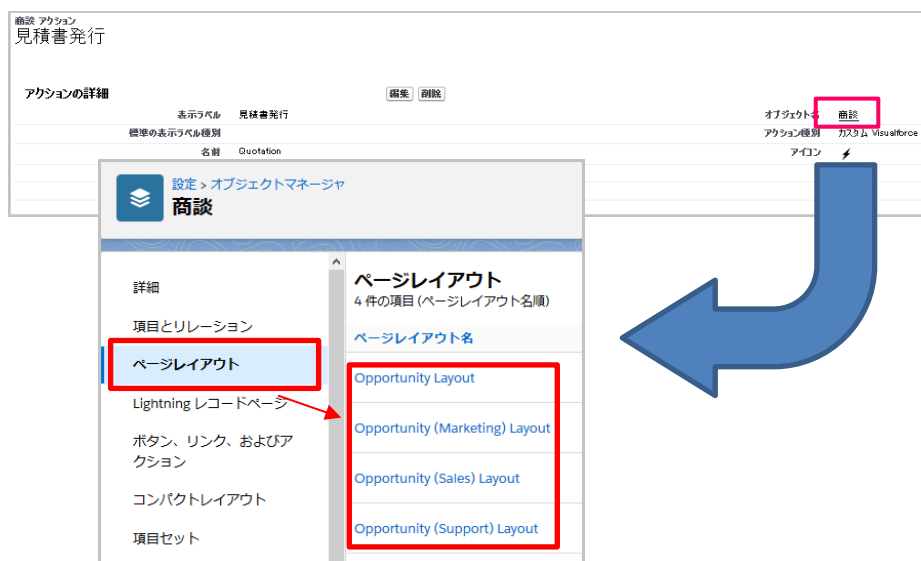
表示ラベル(例)

見積書発行

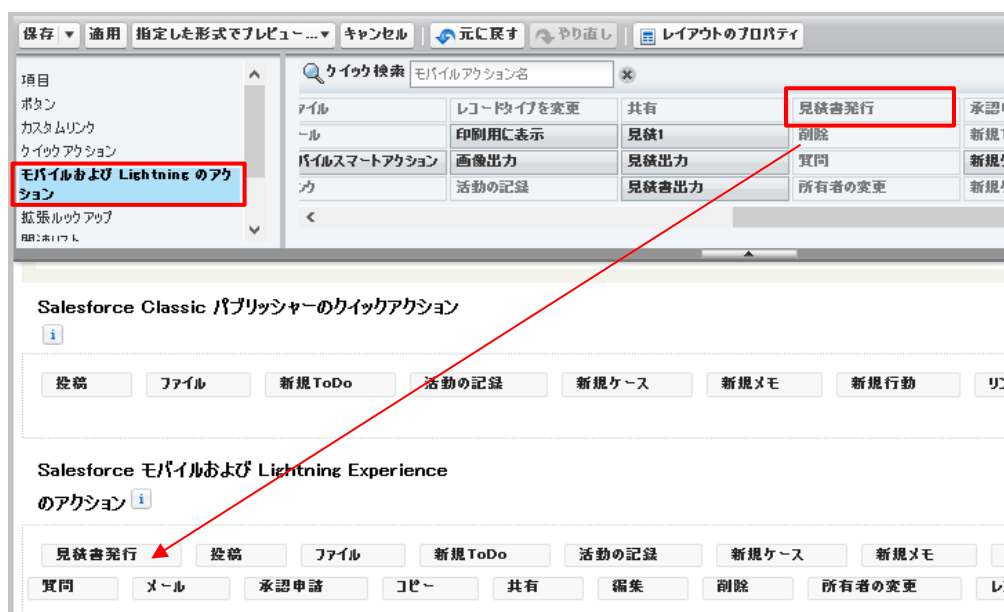
名前(例)

Quotation

- 設定 > オブジェクトマネージャ > 商談画面に戻り、[ページレイアウト]をクリックし、ボタンを表示させたいページレイアウトの[編集]リンクをクリックします。



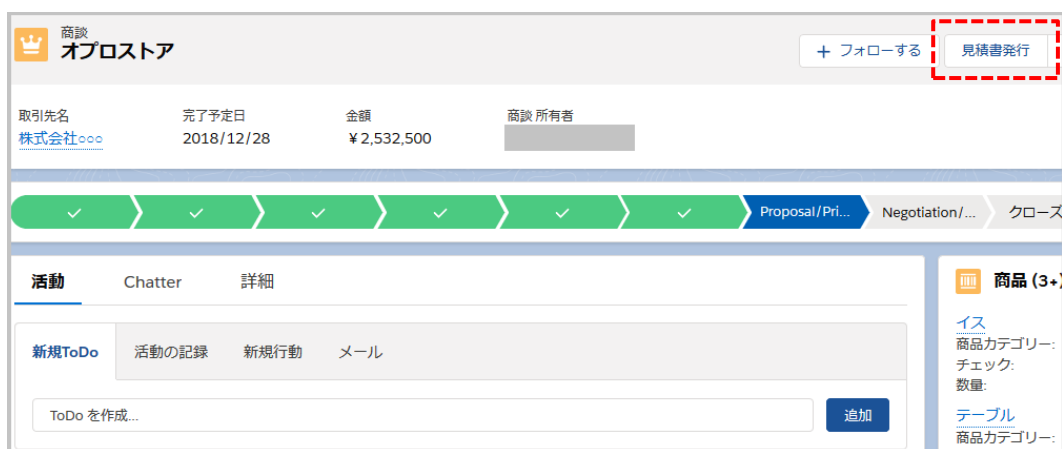
- レイアウト編集画面の「モバイルおよび Lightning のアクション」メニューをクリックし、7 で作成したボタンを「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience」セクションにドラッグ & ドロップします。



10. [保存]ボタンをクリックしてレイアウトを保存します。



11. 商談詳細ページにアクションが表示されていることを確認します。



5.2 リストページに出カアクションを配置する

1. テンプレート配備ウィザードダイアログのリストページを指定して[生成]ボタンをクリックし、表示されたソースをコピーします。

テンプレート配備ウィザード

プレビュー

出力ボタンの作成

プレビューに問題がなければ、[生成]ボタンをクリックして「OnClick JavaScript ソース」を作成してください。

手順を表示

ドキュメントの添付

生成されたドキュメントのオブジェクトへの添付: する しない

活動履歴の登録

生成されたドキュメントを活動履歴に登録: する しない

ファイル名

ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名:

ボタンの設置場所

ドキュメント出力ボタンを設置するページの種類: リストページ 詳細ページ

生成

出力アクションの作成

カスタムボタンが表示されない環境向けに、アクションを作成することも可能です。
[生成]ボタンをクリックして「Visualforce ページソース」を作成してください。

手順を表示

ドキュメントの形式

出力するドキュメントの形式: PDF

ドキュメントの添付

生成されたドキュメントのオブジェクトへの添付: する しない

活動履歴の登録

生成されたドキュメントを活動履歴に登録: する しない

ファイル名

ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名:

ボタンの設置場所

ドキュメント出力ボタンを設置するページの種類: リストページ 詳細ページ

ドキュメントの結合

ドキュメントを結合する: する しない

生成

閉じる

2. 詳細ページの出力アクション 2~6 の手順を行い、「カスタムボタンまたはカスタムリンク」の編集画面へアクセスし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談のカスタムボタンまたはカスタムリンクの編集
見積書一括発行

カスタムボタンまたはカスタムリンクの編集

保存 適用 プレビュー キャンセル

表示ラベル

名前

説明

表示の種類

詳細ページリンク サンプルを表示

詳細ページボタン サンプルを表示

リストボタン サンプルを表示

チェックボックスの表示 (複数レコード選択用)

動作 動作オプションの表示

内容のソース

コンテンツ

保存 適用 プレビュー キャンセル

表示ラベル(例)

見積書一括発行

名前

QuotationPackage

表示の種類

リストボタン を指定

チェックボックスの表示(複数レコード選択用) にチェック

動作

現在のウィンドウにサイバー付きで表示 を指定

内容

コンテンツ→作成した Visualforce ページを指定

3. 設定> オブジェクトマネージャ> 商談画面の[Salesforce Classic の検索レイアウト]をクリックし、リストビューの[編集]リンクをクリックします。

※ [Salesforce Classic の検索レイアウト]メニューがない場合、[検索レイアウト]メニュー内のリストビューを編集します。

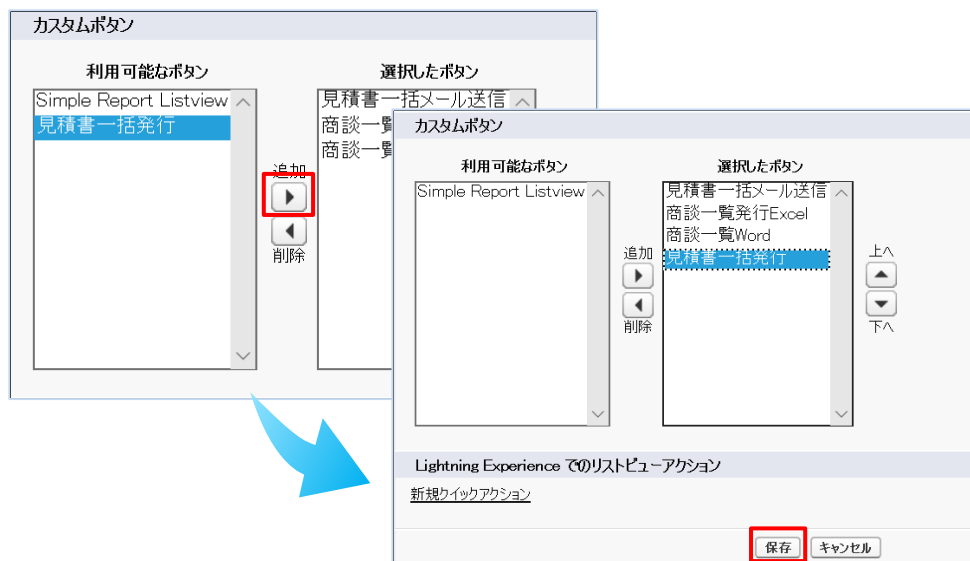
設定 > オブジェクトマネージャ
商談

検索レイアウト
5件の項目 (レイアウト順)

レイアウト	表示される列	表示されるボタン
タブ	商談名, 取引先名, 完了予定日	N/A
リストビュー	N/A	Quipで開く, 新規, 印刷用に表示, 商談一覧発行Excel, 見積書一括メール送信, 商談一覧Word, 見積書一括発行
ルックアップダイアログ	商談名, 取引先名, 取引先 部門	N/A
ルックアップ電話ダイアログ	商談名, 取引先名, 取引先 部門	N/A
検索条件項目	N/A	N/A

発行,
編集

4. 2 で作成したアクションを選択して[追加]ボタンをクリックし、保存します。



5. リストビューページにアクションが表示されていることを確認します。

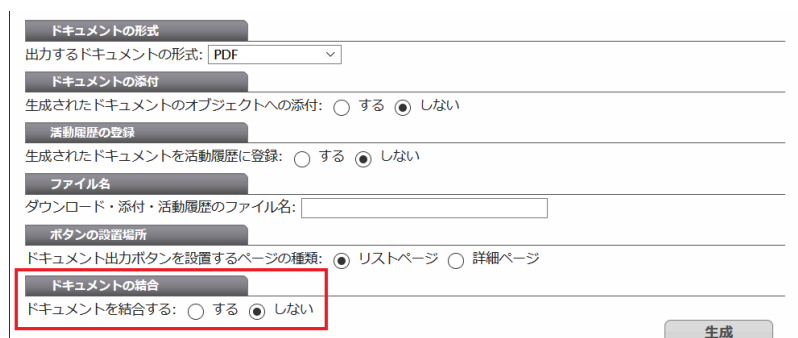
※「すべての商談」を選択してください。



※補足

リストビューから帳票出力した場合、詳細ページから出力できる PDF ファイルが画面に表示されているレコードすべてについて生成され、1 つの PDF ファイルに結合されるかもしくは 1 つのアーカイブファイルにまとめられて出力されます。

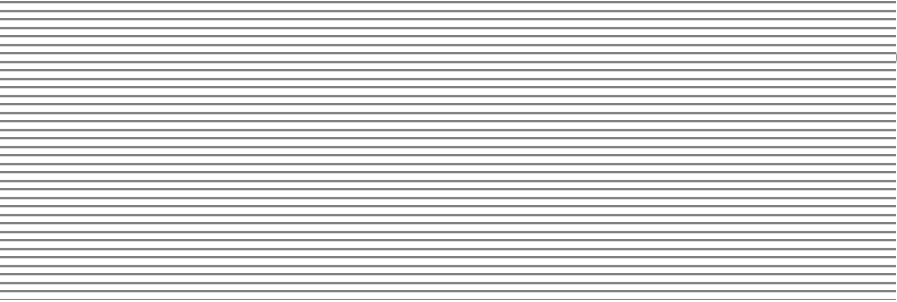
生成された複数の PDF ファイルを結合して 1 つの PDF ファイルにするか、別々の PDF ファイルとしてアーカイブファイルにまとめるかは、「テンプレート配備ウィザードダイアログ」にて選択が可能です。(「結合しない」を選択した場合アーカイブファイルにまとめられます)



6. 参考リンク

帳票テンプレートを作成する際のヘルプページをご紹介します。

- 使用可能なショートカットキーなどに関するヘルプページ：[便利な操作機能（ショートカットキー/その他）](#)
- 罫線に関するヘルプページ：[細行の罫線を常に表示させたい](#)
- バンドの高さに関するヘルプページ：[高さの自動調整](#)
- 出力する明細レコードの条件指定に関するヘルプページ：[特定の明細行のみ帳票出力したい](#)
- 明細レコードの並び順に関するヘルプページ：[明細レコードの並べ替えはできますか](#)
- 列を変えて明細行の続きを表示する方法に関するヘルプページ：[明細を折り返して 2 列に表示したい](#)
- Dataset Table を複数置く方法に関するヘルプページ：[Container コンポーネントについて](#)
- マッピング画面で使える関数に関するヘルプページ：[使用できる関数の一覧](#)
- 数値のフォーマットに関するヘルプページ：[マイナス表記を-1-234-というように出したい](#)
- 条件によってラベルの表示・非表示を変える方法に関するヘルプページ：[条件によって文字を「○」で囲みたい（Salesforce 連携）](#)
- フォント埋め込みに関するヘルプページ：[PDF へのフォント埋め込み（OPROARTS Connector for Salesforce）](#)
- PDF に印影画像を出力する方法に関するヘルプページ：[帳票を出力したユーザの印影を出力したい](#)
- 帳票出力時のエラーに関するヘルプページ：[【エラー】項目名が正しくないか、または、項目への参照権限がありません。](#)



OPROARTS Connector
for Salesforce
ユーザーガイド
(PDF/ヘッダー明細)

